

令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（公民）

報告書

令和2年 7 月 6 日

北九州市教育委員会

教育長 田島 裕美 様

専門調査研究部会 種目 (社会 公民的分野)

部 長 戸 次 健 治 

令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)

このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果を
まとめましたので報告します。

副 部 長 宮 崎 貴 寛 

委 員 瀧 本 主 税 

委 員 木 村 慎 太 郎 

委 員 岩 田 勇 人 

委 員 藍 野 大 貴 

委 員 長 光 孝 正 

委 員 印

委 員 印

委 員 印

観 点 発行者名		東 京 書 籍
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	・学習課題が示され、教科の目標達成に結び付く内容となっている。 ・生徒の発達段階に適応している。 ・学習指導要領に示す内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項	・各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。（QR コード・小学校とのつながり） ・言語活動の充実について内容が配慮されている。 ・各ページ右下の「トライ」の部分で学習内容を生徒の言葉で表現することが求められており、言語活動が活発に行われる内容となっている。 ・体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。「学習課題」で一単位時間の課題が明確に示されており、生徒の主体的な問題解決的な学習を行うことができる。 ・QR コードを活用すれば、個に応じた学習を進めることができる。 ・QR コードの移動先が東京書籍のHPとなっているので、同社の教科書を使用していなければ、他教科・分野との関連付けができない。 ・そもそも取り上げている内容が安全面に配慮した内容になっている（思考ツール、ロールプレイング）。 ・学習指導要領に示す内容及び取扱いに示す事項を超えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。
	(3) 分量	・標準時数と予備時数が含まれており、柔軟なカリキュラムをつくることができるなど、全体の分量は、授業時数からみて適切である。 ・学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。 ・各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。
	(4) 使用上の便宜	・本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。資料が豊富で見やすく、コラムも充実しており、深い学びにつなげることができるように工夫されている。一単位時間の学習が効果的に深めることができるよう、適切に図や資料が配置されている。過不足は感じられない。レイアウトが学習の深まりに有効に働くように配置されている。 ・発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。
	(5) 印刷・製本等	・印刷は鮮明であり、すべての生徒の色覚特性に適応するデザインとなっており、フォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。

2 社会科 の選 定 の 観 点	知識・技能 ・全体で9か所にスキルアップのコラムが設けられており、公民の基礎的な技能を育成するとともに学びを深めることができるように工夫されている。 思考・判断・表現 ・全体で60か所に及ぶところに見かた、考え方のマークがついており、社会的事象の意味・意義を社会生活と関連付けて多面的多角的に考察する力を養うことができる。 関心・意欲・態度 【SDG s の理念（北 九州市の特色：SDG s 未来都市を担う子どもたちにとって）】 ・SDG s について教科書の冒頭部分で取り上げ、各章ごとに考えることができるようになっている。現実の社会問題の中でも特に SDG s の問題を取り上げることで現実社会の課題により主体的に取り組む生徒の態度を育成することができるように工夫されている。 【見方・考え方】 ・見方・考え方をふまえて指導しやすい。 ・(市民) 日本国憲法の優れた点として、地方自治が挙げられる。確実に位置づけられた内容構成など、人権、民主主義についても教材としてはよい内容だと思う。 ・(学校) 生徒が興味・関心をもって学習できるように、社会生活との関連を重視した公正である。その結果、民主的な国家及び社会の形成者として必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容となっている。 ・(学校) 限られた授業時数の中で、すべての内容を取り扱うのが難しい。
------------------------------------	---

観 点 発行者名		教 育 出 版
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	・教科の目標達成に結びつく内容となっている。 ・生徒の発達段階に適応している。 ・指導要領の内容に沿った程度範囲で1章から6章までバランスよく時数が配当されている。領域および分野、内容を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項	・各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。 ・言語活動の充実について内容が配慮されている。 ・体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。 ・本文の横に語句の説明があるなど、個に応じた指導への配慮がされている。 ・そもそも取り上げている内容が安全面に配慮した内容になっている（裁判員裁判について学ぶ際に、模擬裁判が行える 等） ・学習指導要領に示す内容及び取り扱いに示す事項を超えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。
	(3) 分量	・合計100時間で1章から6章までバランスよく時数が配当されているなど、全体の分量は、授業時数からみて適切である。 ・学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。 ・各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。
	(4) 使用上の便宜	・本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。写真や図、新聞記事などの資料が豊富で見やすく、コラムも充実している。思考ツールについての説明のコラムもあり、生徒が自主的に思考ツールを使いやすくなっている。 ・発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。 ・判読しやすい配色となっており、グラフも点線などが使われておらず、見やすいものとなっている ・レイアウトが学習の深まりに有効に働くように配置されている。
	(5) 印刷・製本等	・印刷は鮮明であり、カラーやフォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。公民的分野の教科書は原則1年の使用であるが、ハードカバーで3年間の使用に耐えるような丈夫さがある。

【知識・技能】について

- ・ 公民的分野の改正の要点に沿った内容に配慮してつくられている。
- ・ 現代の社会的事象について情報を調べたりまとめたりする活動が多く、知識や技能の習得につながるように工夫されている。
- ・ 各ページの右下に「確認！」があり、学習活動の基盤となる知識をおさえることができるようになっている。
(苦手な生徒でも、基礎がおさえやすい)
- ・ 用語に過不足なく、最新の事柄を扱っている。SDG s、LGBT等取り扱っている。

【思考・判断・表現】について

- ・ 読み物資料が中心ではあるが、SDGs やLGBT 等の最新の問題をしっかりと取り上げ、広い視野を持ち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっている。
- ・ 各章の初めに学習の見通しを示し、学習する事柄の価値づけを行っている点から主体的に社会と関わろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような構成・内容となっている。
- ・ 思考ツールを活用する場面や各章の振り返りで見方・考え方を使って考えさせることによって、広い視野を持ち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっている。
- ・ 発展的学習課題が文章で説明する活動が多いので、理解が視覚優位な生徒には少し難解なものに感じられるので、並行して図式されているとわかりやすい。教師が他の資料を準備する必要がある。

【関心・意欲・態度】

- ・ ロールプレイングや複数の立場の対立関係を用いるなど、多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が段階的に養われる構成・内容となっている。
- ・ 各章に見方・考え方の視点を分かりやすく明記しており、章末では課題を解決するための視点が示され、次章へのつながりをもたせる内容となっている。
- ・ 「公民の窓」や「公民の技」「クリップ」などの様々な学習コラムが設けられていることによって、生徒の興味・関心の高まりに即応させて学習を深めることができるものとなっている。
- ・ 各章の初めに学習の見通しを示し、学習する事柄の価値づけを行っている点(各章のはじめ)から主体的に社会と関わろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような構成・内容となっている。

【SDG s】について

- ・ コラムなどに、現代社会の課題についてはSDG sにかかわる課題を多く取り上げていることで、持続可能な社会をつくる態度の育成につながるように工夫されている。本市がSDG s 未来都市であることから、その担い手である子どもたちに適している。
- ・ 各ページにSDGs の視点が示され、現代社会における解決すべき課題が把握しやすい。毎時間、振り返りながらできる。
- ・ グローバル化やIT 化などの現代社会の社会問題や社会的課題に対して学習内容を踏まえた考察が章末で行えるようになっている。また、多面的・多角的な考察が行えるような資料や図が用いられている。

見方・考え方

- ・ 各章や各節、一単位時間ごとに学習課題が設定されていることで、社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究し考察することで公民的資質を養うことができるようになっている。その際に必要となる資料が適切に配置されている。
- ・ それぞれの単位には、見×考のマークで見方・考え方を育成する問いが設定されていることから多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が段階的に養われる構成・内容となっている。
- ・ (市民) SDGs 17 の目標を掲載し、社会や個人の様々な『つながり』に目を向けることの大切さを学ぶことができるのがよい。
- ・ (市民) 解説で登場する生徒の服装や言葉遣いがジェンダーフリーな描かれ方をされていて、多様性を大切にする意味でよいと思う。
- ・ (学校) よりよい社会の形成に向けて、解決すべき課題を探究するような紙面となっている。自分の考えをまとめる学習では、3分野の関連を図り、習得した知識を生かして学習できる内容になっている。

発行者名 観 点		帝 国 書 院
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	・教科の目標達成に結び付く内容となっている。 ・生徒の発達段階に適応している。 ・学習指導要領に示す内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項	・各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。(小学校との関連が明記) ・言語活動の充実について内容が配慮されている。 ・体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。章ごと、節ごと、時間ごとに学習課題が設定されていることで、生徒の主体的な探究活動が期待できる。 ・1単位時間で取り扱うべきページの下部に関連のある既習事項が掲載されており、復習することができるとともに、より深化させて学習することができる。 ・1単位時間や章ごとに学習課題について整理をすることができるようになっており、個に応じた言語活動の充実化が図られている。 ・振り返り活動が毎時間設定されているため、内容の理解に配慮してある。 ・確認しよう、説明しようの活動を通じて振り返りができるように配慮されている。 ・実生活に沿うようなイラストを有効に活用するなど、安全な調査方法を提示してある。屋外調査をしなくてよい。教科書で完結できる。 ・学習指導要領に示す内容及び取扱いに示す事項を超えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。
	(3) 分量	・全体の分量は、授業時数からみて適切である。 ・学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。 ・各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。 ・ページ数が約30ページ少なく、教科書全体が軽量化されている。内容がコンパクトにまとめられている。
	(4) 使用上の便宜	・本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。 ・発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。
	(5) 印刷・製本等	・印刷は鮮明であり、カラーやフォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。 ・特別支援教育の観点から、すべての生徒にとって見やすい配色やフォントでテキストがつけられていて、表現も中学生にとってわかりやすく作られている。 ・教科書全体が軽量化されている。

知識・技能

- ・資料が豊富に掲載されていて、資料を用いて考える活動が設定されている。社会的な事象を効果的に調べまとめる技能を育むための工夫がされている。
- ・一方で、資料の読み取りが毎時間ごとに設定されている学習課題の解決にとって結びつかないものもあり、毎時間ごとの学習での視点がぼやけてしまうかもしれない。
- ・毎時間ごとに学習課題が設定され、振り返りとして「説明しよう」の活動があるため、現代社会の課題について説明したり判断したりする力が養うことができる。

思考力・判断力・表現力

- ・資料が豊富に掲載されていて、資料を用いて考える活動が設定されている。社会的な事象を効果的に調べまとめる技能をはぐくむための工夫がされている。
- ・思考ツールを活用する場面や各章の振り返りで見方・考え方を使って考えさせることによって、広い視野を持ち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっている。(議論したり自分の意見を表明したりしやすい活動が準備されている。Yes/No、賛成・反対など)

関心・意欲・態度

SDGs

- ・現代社会の課題について主体的にかかわろうとする態度の育成について、章末の文章だけでは具体的な活動に乏しい気がする。
- ・話し合い活動が身近な話題で議論をしやすいが、社会の題材を扱った他者理解・相互尊重、提案、哲学的な問いにまで至っていない。

見方・考え方

- ・一方で、資料の読み取りが毎時間ごとに設定されている学習課題の解決にとって結びつかないものもあり、学習がつながらない。
- ・教科書全体でどのような資質・能力を育てないのか、感じにくい。
- ・学習課題について、議論をしやすい構成になっているが、賛否を表明するまでで、「対立と合意、効率と公正」「持続可能な社会の実現」という点から考えると、身近なものから脱却して、社会的な課題や国際的な問題などの合意形成を迫体験させるような活動が多いと、より良い。特に、後半部分であるとより良い。
- ・現代社会に見られる課題について、公正に判断するよう記述があり、説明の仕方や、議論するための方法、内容が「東京書籍」「教育出版」と比較すると少ない。
- ・毎時間ごとに学習課題が設定され、振り返りとして説明しようの活動があるため、現代社会の課題について説明したり判断したりする力が養うことができる。
- ・一方で、公民独自の見方や考え方を示唆する項目が少なく、視点がぼやけてしまうように感じる。また、確認しよう・説明しようの活動が各自の学習課題の解決に直結しているかどうか判断しにくい箇所もみられた。
- ・(学校)「章の問い」「節の問い」1 単位時間の「学習課題」が示されることにより、生徒が見通しをもって学習にのぞむことができるような紙面構成である。また、章・節ごとに学習を振り返る活動が設定され、生徒の資質・能力を確実に育むことができるような工夫があり、教師も活用しやすい。
- ・(学校) 資料の読み取りが毎時間ごとに設定されている学習課題の解決にとって結びつかないものもあり、学習に一貫性がないところがある。

観 点 発行者名	日 本 文 教 出 版
1 各教科共通の選定の観点	(1) 内容の範囲及び程度 ・教科の目標達成に結び付く内容となっている。 ・生徒の発達段階に適応している。 ・学習指導要領に示す内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項 ・各教科、各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるような構成になっている。 ・各ページの下部に関連する他分野の分野名と既習事項を想起させるような発問がなされており、関連性をもたせて学ぶことができるようになっている。 ・言語活動の充実について内容が配慮されている。 ・体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。 ・章・節・時間ごとに学習課題が設定されており、末尾で「確認」することで課題に対する考察の振り返りができるようなど、個に応じた指導への配慮がなされている。 ・教科書全体を通じて新しい時代を担う主権者を育成するという目的のもと、内容が編成されている。すべての内容に見かた考え方のコーナーが設定され、生徒が深い学びが行えるように配慮されている。 ・毎時間の学習課題について個で学習内容を深める問いが用意されている。 ・「確かめよう」「資料活用」のコーナーがあり、個に応じて学習内容を定着させる工夫がみられる。 ・思考ツールを重視した構成により、教室内での活動を促すなど安全面への配慮がされている。 ・学習指導要領に示す内容及び取り扱いに示す事項を超えた内容になっていない。内容を逸脱したり、生徒の負担が過重になったりしていない。
	(3) 分量 ・全体の分量は、授業時数からみて適切である。 ・学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。 ・各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。
	(4) 使用上の便宜 ・本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進める上で、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。 ・発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。
	(5) 印刷・製本等 ・環境に配慮して、再生紙が使われているほか、植物性のインクが使われている。特別支援教育の観点から、すべての生徒に見やすいフォント、配色を行っている。印刷は鮮明であり、カラーやフォントにはユニバーサルデザインが採用され、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。 ・UD フォントやカラーユニバーサルデザインの視点が充実している。 ・製本も複数年の使用に耐えうるものとなっている。

2 社会科 の選 定 の 観 点	知識・技能 ・毎時間ごとに学習課題を解決していくことで基礎的・基本的な知識の習得ができるように工夫されている。また、豊富な資料を使い、考えさせる活動を通じて技能の習得を目指す工夫がされている。 思考・判断・表現 ・振り返りや説明する活動を通じて、社会的な事象を自ら判断し表現する力の育成を目指している。 - また、毎時間ごとに学習課題に対して公民的分野の独自の見方・考え方を働かせる活動が設定されているため多面的・多角的な見方や考え方をすることができる。 ・P16, P60, P86 では図や資料、新聞などの読み取り方が示されており、情報リテラシーの涵養に効果的である。また、資料を活用させて多面的・多角的な考察力を身につけることも可能である。 ・各所に「シンキングツール」が示されており、課題解決や思考の深まりに資する技能を身につけることができるように工夫されている。汎用的能力の育成につながる。 関心・意欲・態度 ・教科書全体を通して現代社会の課題について主体的に判断し、表現する構成になっているため、主体的に現代社会の課題に取り組むことができる。 ・各章の導入とまとめの見方・考え方を捉えさせる資料が「東京書籍」と「教育出版」に比べ少ない（P 1 2 6 等、マンガの導入がありその意図や理解をする視点を含めて説明をしているが、学習に関心が向くかどうか疑問がある）。他社の方が、一貫性がある。 ・「アクティビティ」のコーナーを活用すれば、学習課題に沿って考察することができ、主体的な学習活動を展開することが可能であるとともに、他者と協議することで対話的かつ深い学びにつなげることができる。 SDG s 見方・考え方 ・情報スキルアップやアクティビティ、シンキングツールの活用を通じて、多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が段階的に養われる構成・内容となっている。ただし、なぜ、それを使うのか（シンキングツール等）、使いこなせないものもある。充実はしているが、他社と比較すると充実している。量的に多いとも言える。教師側が意図をもって活用の仕方を判断しなければならない。 ・（市民）人権思想のあゆみがきちんと示され、日本国憲法で守られていることがよくわかる。 ・（学校）振り返りや説明する活動を通じて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力等の育成を目指している。また、学習課題に対して現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究し解決する活動を掲載し、資質・能力を育成する内容となっている。 ・（学校）章の導入部分では、イラストが多く、発達段階に応じているか危惧される。
------------------------------------	---

観 点 発行者名		自 由 社
各教科共通の選定の観点	(1) 内容の範囲及び程度	・教科の目標達成に結び付く内容となっている。 ・生徒の発達段階に適応している。 ・学習指導要領に示す内容及び、内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項	・教科書内において小学校や地理的分野などとの関連を図るような具体的な例示はなされていない。 ・言語活動についての記載がある。「アクティブ深めよう」、書く活動中心。 ・体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を促す内容となっている。 ・重要語句の設定が曖昧であるため、学習内容を確実に個に応じた身に付けるまでにいたっていない。 ・体験活動といえるような例示がなく、安全面への配慮が十分であるか判断できない。 ・より広い視野から知識の定着を図るような構成であるため、生徒の実態によっては、負担過重となる恐れもある。
	(3) 分量	・全体の分量は、授業時数からみて適切である。 ・学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。 ・分野によっては問題ないが、取り上げている事項が偏りがある。特定の個所の説明が詳細すぎたり、余分な表現がついていたりしているように感じる部分がある。
	(4) 使用上の便宜	・学習の深まりに有効に働く写真資料は各ページに提示されているが、一方で、グラフなどによる具体的な数値などの資料が少ないため、客観性に欠けている。 ・発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。
	(5) 印刷・製本等	・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。 ・文字が大きく、資料も必要最小限であるため、見やすい紙面構成となっている。 ・文字が大きく、間隔も広くとられているので読みやすい。 ・全体的にページ数が多く分厚い

知識・技能

- ・各章の「学習のまとめと発展」において、広い視野で国際的な関わりや、個人・社会との関わりについて調べたことをもとに表現する活動を通して、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっている。
- ・現代社会の社会的事象に関する情報を効果的に調べ、まとめるための資料が提示されている。
- ・民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動とのかかわりが捉えることのできる内容となっている。
- ・資料を活用する活動が設定されていて、技能の習得を図る工夫がされている。

思考・判断・表現

- ・「アクティブに深めよう」（序盤、表が徐々に難解になる。）では、主に書く活動を中心に資料に基づいて、多面的・多角的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が養われるように構成・内容を工夫している。
- ・「ここがポイント！」で現代の社会的事象に関して考察する際、生徒が考える視点を明確に持てるような構成になっている。
- ・社会的事象に対して考察を行うにあたり、グラフなどの客観性を示す資料が少ないため、多面的・多角的に考察し、客観的に社会的事象と向き合う学習活動が行いづらい。

関心・意欲・態度

- ・各章に設けられている「もっと知りたい」は、主体的に社会とかわろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような構成・内容となっている。
- ・課題を解決するための学習目標が設定されているが、本時の学習を振り返れるような構成になっていない。

SDG s

- ・教科書全体を貫く考え方とは言い難い。

見方・考え方

- ・資料が単純で見やすいが、生徒が興味をもって見方・考え方を働かせるような資料が少ない。
- ・現代社会における社会的事象の見方・考え方の視点が分かりにくい。
- ・章の導入や終末で、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動があまりない。
- ・公民独自の見方・考え方を働かせ、深い学びへと導き資質・能力を育むことを重視した内容・構成とは言い難い。
- ・（市民）憲法9条の解釈の説明（p.84）は、詳細で分かりやすい。現在の議論を簡潔に記述し投げかけることで、生徒が議論することができるようになっている。
- ・（市民）憲法の取り上げ方に偏りが見られる傾向がある。（p.55、p.59）
- ・（学校）現代社会の課題解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養える内容となっている。
- ・（学校）「学習の発展」は、記述式となっているため、生徒の実態によっては取組が難しい内容となっている。

観 点 発行者名	育 鵬 社
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度 ・教科の目標達成に結びつく内容となっている。 ・生徒の発達段階に適応している。 ・領域および分野、内容を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項 ・各分野等との関連や系統性について十分に配慮した紙面になっているとは言い難い。 ・言語活動の充実について内容が配慮されている。 ・体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がされており、生徒の興味・関心を生かし、発展的な学習が促されるような内容となっている。 ・「やってみよう」（各単元）の設定により、学習内容の確実な定着を図るように配慮している。 ・ポスターセッションやディベートなどの体験活動は設定されているため、安全に学習できるような配慮がある。 ・発展的な学習内容が適切である。
	(3) 分量 ・全体の分量は、授業時数からみて適切である。 ・学習指導要領の内容及び、内容の取扱いに示す事項が、授業時数に応じて、適切に配分されている。 ・各領域および、分野の内容に偏りがなく、調和がとれている。
	(4) 使用上の便宜 ・本文、学習課題、説明文、注、資料、写真、図、グラフなどは、学習を進めるうえで、関連をもたせるものとなっており、学習の深まりに有効に働くよう配慮されている。 ・発展的な学習内容に関しては、それ以外のものと区別されている。 ・様々な地域、生徒の実態に応じて、取り上げる際の配慮が必要になる。「学習を深めよう」で、教材に関しては、「子どもの貧困と子ども食堂」などセンシティブなものが取り上げられており、公平かつ多面的・多角的な視点で取り扱えるか配慮が必要である。（p157 子ども食堂、無料学習塾、ひとり親家庭の表現で「余裕がない」という記述）
	(5) 印刷・製本等 ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、紙質などが適切である。 ・再生紙や、植物性のインクなど環境に配慮された作りになっている。 ・特別支援教育の観点から、すべての生徒に見やすいフォントや配色になっている。

2 社会 科 の 選 定 の 観 点	知識・技能 - 資料に外国との比較を多く取り入れることによって、国際的な関わりや個人・社会との関わりについて、調べまとめる技能が身につく構成・内容となっている。 - 現代社会の社会的事象に関する情報を効果的に調べ、まとめるための資料が提示されている。 - 社会的事象を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察することができるような資料の配置となっている。 思考・判断・表現 - 主に資料を読み取って自分の意見を書く活動を通して、多面的・多角的に考察する力や公正に判断する力、説明する力、議論する力が養われる構成・内容となっている。 - 現代社会に見られる課題をもとに、説明、議論する書面が充実し、公正に判断する力を高めるような工夫がある。 関心・意欲・態度 「政治の入り口」（導入。P 7 6）「経済の入り口」などにおいて、主体的に社会と関わろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような導入の工夫が行われている。 SDG s - 巻頭ページや「国際社会のこれから」では、SDG s の取組を調べるようなコーナーがあるものの、一貫してSDG s の視点を踏まえた内容構成にはなっていない。 見方・考え方 - 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究し、解決する内容になっている。 - 各章のまとめでは、導入の見方・考え方、課題に対するまとめの内容が十分でない。 - 話し合い活動につながるような記載が不十分である。 - 各時間ごとにつかむ、調べる、まとめる活動ができるように教材配列がしてあり、資料を基に自分の判断や考えを表現する活動ができるように工夫されている。 - 現代社会の見方・考え方の具体が、十分伝わるような紙面でないため、教師によっては、深い学びへ導くことが難しいと危惧される。 （市民）生徒が自由に討論することが難しいような内容構成となっているところがある。 （市民）憲法9条を取り扱う際、自衛隊と自衛権の説明が多いなど、一部内容に偏りが見られる。 （学校）「政治の入り口」（導入、P.76）「経済の入り口」などにおいて、主体的に社会と関わろうとする態度の育成や周囲と協力し合うことの大切さが自覚できるような導入の工夫が行われている。 （学校）全体的に文章の分量が多く、情報過多となっている。
--	--

令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（地図）

報告書

令和2年 7月 8日

北九州市教育委員会

教育長 田島 裕美 様

専門調査研究部会 種目 (地 図)

部 長 新留 彰



令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)

このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果を
まとめましたので報告します。

副 部 長 道久 和明



委 員 末次 理江



委 員 池尻 達郎



委 員 江藤 直子



委 員

印

委 員

印

委 員

印

委 員

印

委 員

印

観 点		発行者名	東 京 書 籍
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度		・ 社会科学習の目標達成のために工夫された地図はもとより、基礎的な資料から発展的な学習に対応する資料まで教科書の補足資料となる写真・グラフ等が豊富に掲載されている。 ・ 学習指導要領に沿った内容を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項		・ 統計資料において、各国の「人口増加率」や「日本との貿易」に関する情報が示されており日本との比較などの参考となる。(pp. 169～170) ・ 本市の重点施策である「SDG s」を大きく取り上げ、分かりやすく明記されており、社会科の授業だけでなく、他教科でも活用できる内容となっている。 ・ 「世界全体」には、豊富な資料と写真が掲載され、生徒の興味・関心を高める内容になっている。(pp. 9～28) ・ 世界の鳥瞰図の掲載が地域によってばらついている。また、山脈などと文字が重なり、読み取りにくい。
	(3) 分量		・ 多くの資料が示されているが、取り扱う時間数を考慮すると、精選が必要である。
	(4) 使用上の便宜		・ 各地域の位置図が示されており、特に世界の諸地域ではその位置図から関連する周辺地域のページがわかるため検索しやすくなっている。(p. 46) ・ 各地域の基本資料において、「A—B」の断面図が大きくはっきりと示されているため、その地域における高低の特徴をつかみやすくなっている。 ・ 陸高と水深の表示が最初のページにしか示されておらず、読み取りにくい。(p. 4)
	(5) 印刷・製本等		・ 写真資料が多く、大きく掲載されており、見やすい。 ・ (学校) 教科書と同じサイズのため、持ち運びや管理がしやすい。 ・ (学校) 地図の色合いが淡く、文字と重なって読み取りにくい。
2 選 定 の 観 点			・ (市民) 本市の重点施策である「SDG s」を取り上げ、現代社会の課題をつかみやすくしている。(pp. 7～8) ・ 世界と日本との結びつきにおいて、在留外国人の変化や産業の地域間の結びつきについてまとめられており、日本全体の地域的特色が大観できる内容になっている。(p. 163) ・ 世界の「一般図」のページには多くの国旗が掲載されている。 ・ 資料などは最新のものが掲載されており、適切に出所、出典が明示された内容になっている。 ・ 歴史関連ページが充実しており、歴史学習においても資料を活用できるようになっている(p. 95)。しかし、地図上に歴史に関する事項表記が少ない。 ・ 掲載されている資料に、キャラクターの問いが記載され、生徒の興味・関心が高まり、社会的な見方や考え方を働かせるための工夫がある(p. 8等)。しかし、地図活用に対する問いがなく、地図の読み取る力を高める場面が少ない。

観 点		発行者名	帝 国 書 院
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度		学習指導要領に示す領域又は分野の内容に関する基礎的な資料から発展的な学習に対応する資料まであり、内容は不足することなく充実しており、生徒の発達段階にも適応している。
	(2) 内容に関する配慮事項		- 世界は州ごとに「一般図」→「鳥瞰図」→「資料図」、日本は地方ごとに「一般図」→「拡大図」→「資料図」の配列で、学習しやすい構成となっている。 「地図活用」という設問が約130問あり、生徒が主体的に学習に取り組むことができる (p.8)。 - 重要な歴史地名・事項が充実しており、歴史の授業で活用しやすい。(p.48等) - 州の鳥瞰図が充実しており、自然・文化・産業等の情報をイラストで盛り込み視覚に訴えるものとなっている。 「北九州工業地帯の変化」が取り上げられており、自分たちの住む地域の変化をとらえやすくしている (p.88) 「統計資料」では、見やすい字体を使い、濃淡を付けて表示しているので、国ごとの並びが分かりやすい。また、統計の上位や下位の国には色別の表示があり、調べやすい (p167等)。
	(3) 分量		全体の分量は授業時数から見て適切であり、地域ごとの分量に大きな差はない。資料は、州や地方の特色が現れるようなものが厳選されており、適切に理解できるように選定されている。
	(4) 使用上の便宜		- 世界地図に日本の同緯度の地点や対せき点と同尺度で記載され、日本と他地域との比較がしやすい。(p.3, 41等) 「さくいんの引き方」が大きく記載され見やすくなっている。(p.174) - タイトルやインデックス、陸高と水深等が各ページの決まった位置にあり、とても見やすくなっている。 - 断面図のA-B間の線がないため、読み取る作業に時間がかかる。
	(5) 印刷・製本等		- 地図の色使いと都市名(文字)表記に工夫があり、密集地では特に明確で読み取りやすい。(p.97, 98) (市民・学校) 重量もあまり変わることなく、A4の大判化にすることで地図や地図上の文字などの情報が見やすくなっている。しかし、大きすぎて持ち運びの面で不便である。
2 選 定 の 観 点			(学校)「社会的な見方・考え方」を働かせることができる「「地図活用」の設問が数多く掲載されており、資料活用能力を主体的に身に付けられるようになっている (p.22等)。 - 景観写真と地図との対比ができるように示されており、地図を読み取る力が身につくようになっている。(p.113等) (学校) 二次元コードから、学習動画サイト等を活用することで、より具体的に地理的特色を大観できるようになっている。(p.19等) - 日本の諸地域では地方ごとに防災に関する内容が取り上げられており、地形と結び付けて学ぶことができるようになっている。(p.88、149等) - 人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きについて、世界と日本を比較して掲載することで、より日本全体としての地理的特色が大観できる内容になっている。(p.145、158等) - 世界の「一般図」のページには多くの国旗が掲載されている。 - 資料などは最新のものが掲載されており、適切に出所、出典が明示された内容になっている。

令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（数学）

報告書

令和2年 7 月 6 日

北九州市教育委員会

教育長 田島 裕美 様

専門調査研究部会 種目 (数学)

部 長 則 松 敬 二



令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)

このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果を
まとめましたので報告します。

副 部 長

濱 小 路 啓 之



委 員

中 嶋 洋 幸



委 員

秦 弘 美



委 員

林 侑 依



委 員

岡 本 啓 孝



委 員

上 杉 忠



委 員

梶 田 貴 則



委 員

増 田 繁 雄



委 員

印

観 点		発行者名 東 京 書 籍
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	- 教科の目標達成に結び付く内容になっている。 - 内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。 - 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項	- 自分の考えを説明したり、他者と伝えあったりする活動が設定してあるため、言語活動の充実につながる。(3年生 p116 等) - 内容のまとまりごとに、学習目標や学習の大まかな流れが分かりやすく示されているため、生徒の自主的・自発的な学習につながる。(3年生 p96 等) - 練習問題では、例題と類似した問題、発展問題、補充問題など個に応じた指導が行いやすいような工夫がある。 - 各学年の各章の導入では、問題解決的な学習が重視され、生徒の興味関心を活かす教材となっているが、取り組む教材の内容がやや難しいものが多い。
	(3) 分量	- 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 - 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らし適切に配分されている。
	(4) 使用上の便宜	本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連をもたせて配置され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。
	(5) 印刷・製本等	印刷は鮮明であり、字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。
2 選 定 の 観 点	- 単元ごとに、その単元を貫くめあてを設定しているため、単元内の学習をどのように進める必要があるのか分かりやすく、生徒が主体的に学習を進めることができる。 「深い学び」のページでは、数学の問題発見・解決の流れが分かりやすく示されているため、問題解決的な学習を行いやすい。(3年生 p115 等) - 巻末には、「数学の自由研究」のページがあり、題材が領域ごとに設定してあり、自由研究を進める上でのレポートのまとめ方の例も分かりやすく、数学の学習をより深めることができる。 - マイノートには、数学における大切にしたい学習の流れや数学的な見方・考え方の記述の例などを分かりやすく整理しているため、ノートづくりの参考だけでなく、学び方の参考にもなる。 - 巻末に「大切にしたい見方・考え方」のページを設け、「深い学びのページ」の学習で働かせた見方・考え方を振り返ることができるようにしているが、章末や領域ごとにあればもっと活用しやすい。 - デジタルコンテンツ「D」は、動画やシミュレーション、他教科との連携できる教材が豊富あり、学習内容を理解したり、深めたりすることにつながるが、活用するには、QRコードを読み込むために、他のページを開く必要があり手間がかかる。(3年生 p106 等) - 数学的な見方・考え方がキャラクターや生徒のイラストの吹き出しで示してあり、学習を進める上でのヒントにはなるが、見方・考え方として、生徒が他の問題解決などの場面でも活用できるような工夫があまりない。(3年生 p116 等)	

観 点 発行者名	大 日 本 図 書
1 各教科共通の選定の観点	(1) 内容の範囲及び程度 - 教科の目標達成に結び付く内容になっている。 - 内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。 - 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項 - 章の導入ページには、これまでの学習とのつながりが書かれてあり、既習事項とのつながりをイメージしやすく、系統的な学習が行えるよう工夫している。 - 学習を進める上での活動が分かりやすく具体的に示されており、生徒が主体的に学習を進めやすい。(3年生 p103 等) 「たしかめよう」の問題では、問題ごとに評価の観点と関連する学習を振り返るためのページが示されているため、主体的な学びにつながりやすい。 - 練習問題の横にプラスワン問題が示されている箇所が多く、習熟度に応じた対応が行いやすい。 - 学習ごとに「めあて」が明確に記載しており、学習を進める上での方向性は分かりやすいが、教師が設定したい「めあて」と異なることもあるため、取扱いにくいことも考えられる。(3年生 p104 等) - 利用の場面では、問題解決的な学習が重視され、生徒の興味関心を活かす教材となっているが、取り組む教材の内容が取扱いづらいものがある。(3年生 p69 等)
	(3) 分量 - 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 - 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らし適切に配分されている。
	(4) 使用上の便宜 - 本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連をもたせて配置され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。 - 配当時数の目安が記号で示されているため、学習指導計画を立てやすい。 - 巻末の「学年のまとめ」は、切り離すことができ活用しやすい。
	(5) 印刷・製本等 印刷は鮮明であり、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切であるが、一部字の大きさが小さく読みにくい箇所がある。
2 選定の観点	- 内容のまとめりごとの導入に設定している「かんがえよう」では、導入にふさわしい問いとなっているため、スムーズな学習につながる。(3年生 p118 等) - 数学の日常生活とのつながりや数学の世界を広げる深めることができる読み物「MATHFUL」や「活用・探求」のページなど各章ごとに設定している。(3年生 pp173～174 等) - 数学的な見方・考え方についてまとめたページが巻頭にあり、当該学年で働かせたい数学的な見方・考え方が分かりやすく示してあるが、具体的にどこで働かせているのか分かりにくい。 - デジタルコンテンツ「WEB」は、動画やシミュレーション、社会との関連など、学習内容の理解や、社会との関連を学ぶことにつながるが、活用するには、巻頭のページを開きQRコードを読み込む必要があり手間がかかる。(3年生 p127 等) 1学年では、「素数」の学習が最初に設定してあるが、なじみのない数学用語などを含むため、「正の数・負の数」の始まりの方が生徒にとってよい。

観 点	発行者名 学 校 図 書
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度 - 教科の目標達成に結び付く内容になっている。 - 内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。 - 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項 - 巻頭の「ノートを使い方」や巻末の「表現する力を身につけよう」などのレポートの作成方法や発表のしかたなどの具体例があり言語活動の充実につながる。 - 各学年の各章の導入では、問題解決的な学習が重視され、生徒の興味関心を活かす教材であり、課題設定の難易度も適切なものになっている（3年生 p101 等） - 補充的、発展的な内容が掲載されており、本文の学習と関連付けしながら、生徒の理解度や興味関心に応じて取り組めるように配慮されている。 - 章ごとに問題発見・解決、そして新たな問題発見の過程まで示された学習活動が設定しており、問題解決的な学習の充実につながる。（3年生 p121 等）
	(3) 分量 - 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 - 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らし適切に配分されている。
	(4) 使用上の便宜 - 反復練習が必要な計算問題については「計算力を高めよう」のページを設定しており、習熟のために利用できる。 - 特に、基礎的な内容に十分指導時間がかけられるように構成されている。
	(5) 印刷・製本等 - 印刷は鮮明であり、字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 - 各学年の各章の導入に関連した内容の振り返りや、導入の課題は、挿絵の大きさや配置、配色の関係で読み取りづらいものが多い。（3年生 pp99～100 等）
2 選 定 の 観 点	- 数学的な見方・考え方を働かせ問題を解決する場面で、登場人物の対話文で数学的な見方・考え方を働かせている具体例とともに、今後の学習でも働かせることができるように分かりやすく提示してある。 - 基礎的、基本的な学習内容を確実に習得できるように、既習事項を適宜示し、適用問題を数多く掲載している。また、日常生活の事象を数学の問題として捉え、表現したり、処理したりできる内容になっている。 （学校）教科書のQRコードから、動点問題を動画で見ながらグラフを考えたり、気象データの資料サイトにアクセスできたりと、授業内でICTを活用するだけではなく、家庭での復習や自主学習として用いることができる。（3年生 p119 等） - すべての「Q」の問題で数学的な見方・考え方の例が示されており、生徒の主体的活動の補助として活用することができる。（3年生 p121 等） - 内容のまとめりごとに、学習を通して何ができるようになったのかについてまとめられている。そのわかったことを踏まえ、次の学習に向けた課題が示してあるが、生徒が考え発見する場面が得られにくい。（3年生 p118 等）

観 点		発行者名	教 育 出 版
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度		- 教科の目標達成に結び付く内容になっている。 - 内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。 - 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項		- 各学年の各章の導入では、問題解決的な学習が重視され、生徒の興味関心を活かす教材となっており、取り扱いやすく、分かりやすい表記である。 (学校) 章の導入では関連する数学の歴史や社会とのつながりなどについて簡単に触れ、生徒の興味・関心につながるトピックスを掲載している。 - 言語活動の充実を図ることができる場面設定「みんなで話しあおう」「みんなに説明しよう」がある。(3年生 pp125, 128 等) - 章の問題では、問題ごとに評価の観点と関連する学習を振り返るためのページが示されているため、主体的な学びにつながりやすい。
	(3) 分量		- 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 - 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らし適切に配分されている。
	(4) 使用上の便宜		- 本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連をもたせて配置され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。 - デジタルコンテンツの中には、解き方や解答付きの練習問題のプリント(PDF) が盛り込まれているため、活用できる。 (学校) 各章のはじめに前学年の復習ページがあるため、内容に入りやすい。 - 章末問題では、基礎・基本と発展問題が明確に分かれていないため、習熟度に応じた取り扱いの工夫が必要。(3年生 pp130～131 等)
	(5) 印刷・製本等		- 印刷は鮮明であり、字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 (学校) ページ右側の学習を補助する事柄などが書かれてあるスペースにより本文の数式や説明文の箇所にスペースが取れず、読み取りにくい場面がある。
2 選 定 の 観 点			- 数学的な見方・考え方を巻頭の「数学的な考え方」に具体的に分かりやすく紹介している場に加えて、本文中にも具体的な説明を加えてあり、生徒が意識しやすい。(3年生 p123 等) (学校) 1年生数学の広場に演算記号としての(+)、(-)の使い方と符号としての使い方を分かりやすく示してある。 「数学的な考え方のまとめ」では、どんな力が数学を学ぶことで身に付くのか分かるとともに、どんな見方・考え方で問題解決していけばよいかの手掛かりになる。(3年生 pp8～11 等) - 章の前にレディネスチェックできる問題とポイント整理のページが設定されている。また、必要に応じて問題に巻末の「学びマップ」との関連ページの記載があり、解くためのヒントとなったり、復習の機会を広げたりするなど主体的な学びにもつながる。(3年生 p134 等) 「学びマップ」では、前学年の学習も含めた系統的に学習を進めることや振り返ったりすることに活用できるが、内容ごとの境界がわかりにくく読み取りにくい。 - デジタルコンテンツ「まなびリンク」は、動画やシミュレーション、社会との関連など、学習内容の理解や、社会との関連を学ぶことにつながるが、活用するには、巻頭のページを開きQRコードを読み込む必要があり手間がかかる。(3年生 p122 等) 1学年では、「素数」の学習が最初に設定してあるが、なじみのない数学用語などを含むため、「正の数・負の数」の始まりの方が生徒にとってよい。

観 点		発行者名	新 興 出 版 社 啓 林 館
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度		- 教科の目標達成に結び付く内容になっている。 - 内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。 - 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項		- 各学年の各章の導入では、問題解決的な学習が重視され、生徒の興味関心を活かす教材であり、取り組みやすい内容である。(3年生 pp90～91 等) 「話しあおう」「説明しよう」など言語活動の充実を図ることができる場面設定が充実している。(3年生 p115 等) - 各章の利用の学習では、問題解決の過程を体得できるように問題解決的な学習の進め方を step で分かりやすく示している。(3年生 p111 等) - 章末問題では、問題ごとに習熟度が確認できる評価の観点及び、関連ページが示してあり、学習を行いやすい工夫がある。(3年生 pp116～117 等)
	(3) 分量		- 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 - 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らし適切に配分されている。 - 基礎・基本問題及び発展的な問題が十分に設定してある。
	(4) 使用上の便宜		- 本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて配置され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。 - 巻末から始まる「自分から学ぼう編」は、学習の確認ができるセルフチェックシートがあり計画的に学習が進めやすい工夫がある。 (学校) 巻末の付録がないため、付録を活用した数学的活動が少なくなる。
	(5) 印刷・製本等		- 印刷は鮮明であり、字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 - 本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連をもたせて配置され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。
2 選 定 の 観 点			- 数学的な見方・考え方を必要に応じて、例題の中に「考え方」として示したり、キャラクターの吹き出しに示したりしている。また、学習の中で働かせた数学的な見方・考え方を各ページの下段に示していたり、巻末の章ごとの「学びのあしあと」にも各章で大切にしたい数学的な見方・考え方を示したりするなど、数学的な見方・考え方に関わる記載が充実しており、体得できるような工夫がある。(3年生 p106 等) - デジタルコンテンツは、動画やシミュレーション以外にも補充問題が設定しており、各章ごとにコンテンツが充実している。他教科との連携できる教材が豊富あり、学習内容を理解したり深めたりすることにつながり、本文中の関連ページごとにすぐに活用できるようにQRコードが掲載してある。また、章末問題を解くためのヒントとなる考え方と答えを確認することができ、授業以外の場面での学習が行いやすいようになっている。(3年生 p91 等) - 巻末の「学びをいかそう」は、章ごとに日常生活や社会、他の教科と数学との関わりを感じたり、学習をさらに深めたりすることのできる題材であり、詳しい解説もあり、数学のよさを感じながら主体的に学習が進められる工夫がある。 - 章末の「学びを身につけよう」では発展的な問題を設定しているが、この問題に働かせたい数学的な見方・考え方に関わることを「考え方」やキャラクターの吹き出しに示すなどの工夫があるとよい。(3年生 p118 等)

観 点 発行者名		数 研 出 版
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	- 教科の目標達成に結び付く内容になっている。 - 内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。 - 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項	(学校) 新しい学習内容に関連する既習事項を取り扱い、系統性を意識しながら意欲をもって学ぶことができるようになっている。(3年生 p100 等) - 各章の導入場面では、その学習に関連した内容ではあるが、次のページからの学習内容との結びつきが強い内容となっていないため、取り扱いに注意が必要。 - 話し合う活動や説明する活動など言語活動の充実につながる場面が少ない。 (学校) 本文中、人物キャラクターが対話形式で多数登場し、問題解決のためのヒントが書かれていることも多くある。その反面、生徒自らが考え発見する場面が得られにくい。(3年生 p102 等) - 授業以外などの学習としての巻末の「チャレンジ編」では、必要に応じてヒントとなる「考え方」や解き方の例が示している点は使いやすいが、解答はあるが解説がなく使いにくい面もある。
	(3) 分量	- 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 - 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らし適切に配分されている。
	(4) 使用上の便宜	- 本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連をもたせて配置され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。 「探求ノート」は課題が書いてあるページとその課題のワークシートが離れたページにあるため使いにくい。 - 巻末に「学びの自己評価」があり、学びを振り返ることができるチェック項目があるが、自分で評価を行うには難しい内容のことが多い。
	(5) 印刷・製本等	- 印刷は鮮明であり、字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 - 全体的にカラーユニバーサルデザインに配慮され、鮮明で見やすく、見分けやすい色使いであり、適度に枠囲みで示しているため、学習の理解も進みやすい。
2 選 定 の 観 点		- 別冊「探求ノート」で取り扱っている題材は、日常生活に関わるものが多く、数学と社会とのつながりが感じられるものであり、数学的活動を通して解決を目指す内容となっている。 - 働かせたい数学的な見方・考え方を本文中に登場する生徒の対話文で示しており、学習の進め方が分かりやすいが、それらが数学的な見方・考え方であることは、記号などで示されたり、補助説明などの記載があったりしないため生徒が意識しにくい。(3年生 p98 等) - デジタルコンテンツ「Link」は、動画やシミュレーション以外にも、補充問題が設定しており、各章ごとにコンテンツが充実しているが、活用するには、巻頭のページを開き QR コードを読み込む必要があり手間がかかる。(3年生 p105 等) - 巻末に「数学旅行」のページに日常生活や社会とのつながりを感じることのできる内容や数学の楽しさを感じることができる内容のトピックスが充実しているが、学習との関連がわかりにくいいため、学習した内容を深めたりする活動と関連をもたせにくい。

観 点	発 行 者 名 日 本 文 教 出 版
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度 - 教科の目標達成に結び付く内容になっている。 - 内容の程度は、その学年の生徒の発達の段階に適応している。 - 学習指導要領に示す教科及び学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	(2) 内容に関する配慮事項 - 新しい単元に入る前に1ページを用いて既習内容の復習が取り入れられており、既習内容を活用するという教科の特性を考えられた配置である。生徒のつまずきも減少することが期待される。(3年生p87等) - 言語活動の充実を図ることができる場面設定「考えよう」「話し合おう」「説明できるかな」がある。特に「話し合おう」の場面では、考えるためのヒントとして対話形式の挿絵があるため取り組みやすい。(3年生pp90～92等) 「学び合おう」では、問題解決的な学習の流れが分かりやすく示しており、学習を進めやすい。また、話し合う活動や説明する活動など言語活動の設定もある。しかし、章ごとの設定ではないため充実しているとまではいかない。
	(3) 分量 - 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 - 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らし適切に配分されている。
	(4) 使用上の便宜 - 本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて配置され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。 - 巻末に「図形のまとめ」として、各学年で学んだ内容をまとめているので、いつでも見返しやすく、学習時に便利である。 - 本文中の問題の横に必要なに応じて巻末の補充問題を示すページや問題番号が示されているため、使いやすい。 (学校) 学習ごとに「めあて」と「まとめ」が明確に記載しており、学習を進める上での方向性は分かりやすいが、教師が設定したい「めあて」と異なることもあるため、取扱いにくいことも考えられる。(3年生pp104～105等)
	(5) 印刷・製本等 - 印刷は鮮明であり、字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 - 挿絵や説明図がシンプルで分かりやすい、また、例題や問題などの番号なども分かりやすくストレスなく学ぶことができる。
2 選 定 の 観 点	- 数学的な見方・考え方を巻頭の「数学的な考え方」に分かりやすく紹介している場に加えて、本文中にも具体的な説明を加え、生徒が意識しやすいように取り上げられている。(3年生pp6～7等) 「数学のたんけん」として、学習内容に関連した発展的な内容を紹介しており、生徒の興味・関心を高めるのに有効であると考えられる。(3年生p120等) - 本文中の「話し合おう」「深めよう」の場面では、話し合うための視点や考えを深めるためのヒントなどが、「大切な見方・考え方」の項目に書かれており、取り組みやすく、数学的な見方・考え方を生徒が意識することにもつながりやすい。(3年生p115等) - デジタルコンテンツ「WEB」は、動画やシミュレーション以外にも練習問題が設定しており、各章ごとにコンテンツが充実しているが、活用するには巻頭のページを開きQRコードを読み込む必要があり手間がかかる。(3年生p88等) - 巻末にレポートの書き方の例が具体的に分かりやすく示してあるが、実際にレポートにまとめるなどの課題の設定がなく活用しにくい。

令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（理科）

報告書

令和2年 7 月 3 日

北九州市教育委員会

教育長 田島 裕美 様

専門調査研究部会 種目 (理 科)

部 長 川津 博司 印

令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)

このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果を
まとめましたので報告します。

副 部 長 上土井 靖人 印

委 員 小林 珠美 印

委 員 宮崎 美香 印

委 員 新野 美奈子 印

委 員 可児 智美 印

委 員 齋藤 貴志 印

委 員 印

委 員 印

委 員 印

発行者名 観 点		東 京 書 籍
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	内容や範囲及び程度は適切である。
	(2) 内容に関する配慮事項	- 各単元の最初に既習内容とこれから学習内容が図入りで記載されている。 - 他教科の学習事項とのつながりが明確で、多面的な理解が促される。 - 教科書の中に、話し合い活動を促すような表記がなされるとともに、「話す」活動だけでなく「書く」活動の表記も多くあり、言語活動に配慮されている。 「レッツスタート!」による各節導入で、主体的に学習に取り組める。 (学校) 密度や質量パーセント濃度、溶解度など、つまずきやすい内容では例題を挙げて、丁寧に記述している。 1学年の生物分野において、最も重要な「分類」が中心となる展開で、また、化学分野においても「見分ける」ことが中心の展開となっており、科学的な思考力を培うことができる。 「学んだことをつなげよう」は、日常生活と結びつけ思考力を深めることに効果的である。 - 小学校での既習事項や発展的な内容や例外的な事象についても本文中に含まれており、全体的に情報量が多く、詳しい。 (学校) 多彩なコラムで日常生活や日本のもつ科学技術に触れており、学びが広がる。 - 観察・実験の操作手順やキャラクターのセリフなど、本文以外の部分は単語の途中で改行しないようになっており、特別な支援を要する生徒にとっても学習しやすいよう配慮されている。 - 観察・実験を安全に行うための注意がマークで示されており、わかりやすい反面、なぜその注意が必要なのか、理由が書かれていない。
	(3) 分量	各分野、領域及び内容に偏りがなく、全体の分量は授業時数から見て適切である。
	(4) 使用上の便宜	- 実験の説明が学習の深まりに有効に働くように配慮されている。 - ペーパークラフトで、地学分野で必要な、且つ現代の生徒が苦手な空間認識能力を育てられる。 - 全体的に、図や写真が効果的に使用され、本文の情報量が多い。 - 実験において、「結果の見方」「考察のポイント」が丁寧に記されており、思考力・表現力の育成が期待できる。 (学校) 読みにくい漢字には、見開きの初出箇所ですりがなをつける工夫がなされている。 - 科学史で漫画が採用されているのが、わかりやすい。
	(5) 印刷・製本等	- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 (学校) A4スリム判が採用されているが、自然に閉じやすい。 - 表紙・単元の始まりにおける写真に迫力があり、興味・関心が引き出される。 - 軽い用紙を採用しており、軽量化がなされ扱いやすい。

2 選 定 の 観 点	・ (学校) 学習内容を深める本・内容と関連する本について、「科学の本棚」で紹介されている。 ・ QRコードを読み取って、インターネットを活用する方法は、スマホ世代の生徒には興味・関心が高まることが考えられる。 ・ 巻頭部に思考の流れや科学の有用性についてのページがある。 ・ 教科書の冒頭部に、身の回りの科学を意識させることで、科学を学習する動機づけに繋がる。 ・ 3学年の粒子領域で、果物電池（ボルタ電池）からの学ぶことにより、現代の電池が改良の賜であることを理解することができる。 ・ 「活用」で深い学びにつながる問題が設定されている。 ・ (市民・学校) 巻末資料「理科の学習を深めよう」でいのちのたび博物館などが紹介されており、博物館との関連が図られている。 ・ 冒頭部に探究の過程に直結した言語活動が示されているが、具体性がなく、生徒にはわかりにくいと思われる。 ・ (市民) 各学年でSDGsとの関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。
----------------------------	--

発行者名 観 点		大 日 本 図 書
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	天体の取扱いで、学習指導要領で示されているエネルギーとの関連性の説明が乏しい。
	(2) 内容に関する配慮事項	(学校) 各単元の最初や側注に既習内容とこれからの学習内容が図入りで記載され、系統的な指導ができる。 - 文章が簡潔で且つ話し合い活動を促すような表記がされ、言語活動の充実に配慮されている。 - 観察・実験を行う上での配慮事項が、理由とともに明確に表記されている。 - 一年生の教科書の巻頭で、安全に実験が行えるよう理科室のきまりをイラストを用いて示しており、分かりやすい。事故の防止及び使用薬品の管理や廃棄について十分配慮されている。 - 巻末の「探究の進め方」で、課題解決学習の流れについて紹介されている。問題発見から考察・推論、発表までの流れを具体的な課題をもとに示しており、本文にもそのように重視されている。 「くらしの中の理科」が随所にあり、興味関心を高めるのに効果的である。 - 巻末資料が充実している。(薬品や数値の取り扱いなど) - 単元末にまとめのページで学習の定着を図り、さらに、読解力問題が取り入れられており、思考力・判断力・表現力の育成に配慮されている。 - 他教科とのつながり、日常生活での活用例、職業との関わり等が随所に盛り込まれ、学習事項がより深まるように工夫されている。
	(3) 分量	読み物資料の分量が多いため、ページ数がやや多く、重い。
	(4) 使用上の便宜	- 道徳教育やキャリア教育に関連づけた内容が記載されている。 - 実験の説明が学習の深まりに有効に働くように配慮されている。 - 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されており、記述もわかりやすい。 (学校) 観察実験の「結果から考えよう」と「結果の例」が別ページになっていることで、生徒自らの思考を遮らない。 - 観察・実験の内容(方法等)について、1ページにまとめられているが、フォントが小さい。
	(5) 印刷・製本等	- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 1年と2・3年の文字の大きさを変えるなどの配慮が適切である。 - 従来のB5判でノートとも丁合できる。 - 写真・図共にカラーユニバーサルデザインを踏まえた配色が工夫され、見やすい。
2 選 定 の 観 点		- 持続可能な社会にする方法の例として、本市の水素エネルギーの研究が挙げられている。 (市民・学校) 巻末の「行ってみよう! 科学館・博物館」で、生徒にとって身近な存在である『福岡市科学館、福岡県青少年科学館、北九州市いのちのたび博物館』の三ヶ所やエコタウンの写真が掲載されている。 (市民) 発電を見開きで長所・短所・しくみが書かれていてとても見やすかった。 - QRコードは目次に紹介されているだけで、ウェブサイトの活用に乏しい。 (市民) 各学年でSDGsとの関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。

発行者名 観 点		学 校 図 書
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	・ 学習指導要領では第3学年で取り扱うようになっている変温動物の取扱いがなされていない。 ・ 基本事項を重視して扱っている。(発展的な内容が少ない。)
	(2) 内容に関する配慮事項	・ (学校)「学びの交換アイデアボード」が最後のページにあることで、話し合い活動がしやすいように、配慮されている。 ・ (学校) QR コードから、単元のまとめや基礎問題を確認することができるので、家庭学習の習慣づくりにも、役立つことが予想される。 ・ 単元末問題「学びを日常にいかしたら」では、読解力問題が取り入れられており、思考力・判断力・表現力の育成に配慮されている。 ・ 探究の方法を身につけさせるために、実験毎にページを割り丁寧に探究の過程を押さえている。 ・ 各単元の最初に既習内容とこれからの学習内容が図入りで記載されていないなど、各教科等及び各学年相互間の関連を図った系統的・発展的な流れに、他者に比べると少し配慮が足りない。 ・ ホワイトボードの活用方法が示されていない。 ・ 他者が、問題解決学習ができるように工夫した記述があるのに対し、導入部でいきなり本文に入るため、自主的な学習を促すことができない。 ・ 内容が詳しく書かれすぎること、要点が分かりにくく生徒の思考を妨げるおそれがある。 ・ 理科の学習内容と職業との関連が、巻頭折込にまとめて紹介されているため、学習事項とのつながりを実感しにくい。
	(3) 分量	・ QR教材を構築することで、ページ数を減らし、大幅に軽量化している。 ・ 必要なところを端的に学習する時間構成になっているが、学習の定着を図ることができない。 ・ 第1学年の生物分野の分量が少なく、全体的に余白が多い。
	(4) 使用上の便宜	・ (学校)「Can-Do List」という自己チェックシートで、章の目標が示され、評価との関連が明確化されている。 ・ 配信型授業支援サービス「センセイエール」で、板書例・指導案・ワークシート用データ等が配信される。 ・ 実験における全てが写真で示されているため、実験によって得られる感動や驚きを奪ってしまうように感じる。 ・ 会話文で進む箇所は、一文が長い。 ・ 挿絵や資料が多く、本文と読み物資料の区分けが一見して分かりにくい。
	(5) 印刷・製本等	・ 紙の材質が、他者と比べて良くない。 ・ 新版 AB 変形判 (縦 B5 横 A4) はノートやワーク教材等と丁合ができない。
2 選 定 の 観 点		・ QR コードを読み取って、インターネットを活用する方法は、スマホ世代の生徒には興味・関心が高まることが考えられる。 ・ (市民) 各学年で SDGs との関連が分かりやすいように取り上げられている。

発行者名 観 点		教 育 出 版
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	- 基礎的・基本的な内容を細かに記述している。 (学校) 発展 (高校での学習事項) のトピックが多い。
	(2) 内容に関する配慮事項	- 巻末に「理科で使う算数・数学のページ」「試薬の扱い」等、特集されている。 (学校) 重要語句が朱色で書かれており赤シートで消すことで自学しやすい。 「禁止」「注意」「指示」「廃液処理」に分けられた安全面の配慮がよい。 「ハローサイエンス」で日常生活や社会で既習内容がどのように関連しているのかがわかり、思考が深まる。 - 章頭に「学習前の私」、章末に「学習後の私」が設定されており、単元毎の自己の学びを振り返ることができる。 - 小学校での既習事項を確認できるように、「思い出そう」を随所に配置している。 - 各単元の最初に既習内容と今後の学習内容が図入りで記載されていない。 - 生徒が疑問から探究できるように構成されているが、見方・考え方を自由にはたらかせる構成になっていない。 - 単元末問題では、知識・理解を問うものが多く、思考力・判断力・表現力の育成への配慮に欠ける。 - 他教科との関連は少ない。
	(3) 分量	ページ数が多く、AB変形判の大判サイズであるため、重く扱いにくい。
	(4) 使用上の便宜	- 星座早見表など、生徒が興味をもつ付録が添付してある。 - 全体的に基礎・基本的な内容を重視しており、図や写真が大きくシンプルである。(図や写真は最低限の量。) - 見開きの初出漢字、重要語句にはふりがながつけられている。 - 側注をなくしたことで、シンプルな見開きレイアウトとなっている。 - 中学校配当漢字及び常用漢字について見開きごとに振り仮名をつけている。 - 実験の目的・準備・方法・結果・考察までが見開きでとらえやすい。結果を中に書き込むことも可能になっている。レポート例として、次ページに示されているものもある。 (学校) 各学年、巻末に切り離し可能なカードがついているが、保管スペースの配慮はなく、教室内に散乱したり、紛失したりするように感じる。(特に二年生の教科書の原子のモデルカード) 1行当たりの文字数が多くなり、読みにくさを感じることもある。
	(5) 印刷・製本等	- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 1年と2・3年の文字の大きさを変えるなどの配慮が適切である。 - 新版AB変形判(縦B5横A4)はノートやワーク教材等と丁合ができない。
2 選 定 の 観 点		- 他者と比べて単元の並びが異なっている。 (市民) 各学年でSDGsとの関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。 - I C Tを活用する箇所が少なく目立たない。 (市民) 自然破壊やウミガメなど載せているが、プラスチックの良さが目立つ。

発行者名 観 点		新 興 出 版 社 啓 林 館
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	- 学習指導要領では第3学年で取り扱うようになっている変温動物の取扱いが、第1学年の発展的な内容の扱いになっている。 - 学習指導要領で取り扱われていない恒温動物について記載されている。
	(2) 内容に関する配慮事項	「深めるラボ」により、高校理科との関連が図られている。 (学校)「探Qシート」が付属され、問題解決的な学習を進めながら、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されているとともに、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。 - 実験・観察の指示は、探究の過程に沿ってわかりやすく説明されている。見開き2ページ以内にまとめられているので、理解しやすい。 - I C Tを活用し、個の学びに配慮されている。 - 章末・単元末・巻末問題の中に、学習内容を確認できるポイントや問題、全国学力・学習状況調査を意識した問題が記載されている。 - 粒子モデルやイオンモデルを教科書に書き込む箇所があり、理解を深める工夫がある。 (学校) 実社会・実生活と学習内容との関連性がわかりやすく紹介されている。 - 探究の方法を身につけさせるために、実験毎にページを割り丁寧に探究の過程を押さえている。 「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」が設けられ、理科の見方・考え方を重視して思考力・表現力を育成する配慮がなされている。 - 各単元の最初に既習内容とこれから学習内容が図入りで記載されていない。
	(3) 分量	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。
	(4) 使用上の便宜	- 写真の選定が生徒の興味を引くものであり、かつダイナミックで授業の導入に使いやすい。横長のレイアウトを効果的に使っている。 - 総ページ数を現行の教科書に比べ一割程度削減し、軽量化に努めている。 (学校) 写真が豊富だが、雑多な感じが残り、わかりづらい。 「深めるラボ」などトピックの種類が多いのはよいが、「発展学習」と「他教科との関連」の区別がつきにくい。
	(5) 印刷・製本等	- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 - 新版 AB 変形判 (縦 B5 横 A4) は、ノートやワーク教材等と丁合ができない。
2 選 定 の 観 点		(市民) 各学年で SDGs との関連は図られているが、明確に示されている箇所が少ない。 - 化学電池の学習では、ボルタ電池の記載がなく、問題点を解決しながら科学技術が進歩してきたという学ぶ意義を感じることができない。